

新型コロナウイルスワクチンの廃棄について

本市が取り組む新型コロナウイルスワクチン接種の個別接種協力医療機関において、ワクチンの廃棄がありましたので、お知らせします。

今後、このような事態が発生しないよう、改めてワクチンの適正管理を徹底し、再発防止に努めてまいります。

1 事案の概要

- (1) ワクチン廃棄の発生日時
令和3年8月25日（水） 7時30分頃
- (2) 接種会場
市内個別接種協力医療機関
- (3) 廃棄した数量・種類
14バイアル（84回分） ファイザー社製ワクチン
- (4) 廃棄の原因
保管用冷蔵庫内の温度上昇（冷蔵庫の扉が長時間開いていたため）

2 経緯

8月25日（水）

7：30 当該医療機関の職員が保管用冷蔵庫の扉が少し開いているのを発見した。庫内の温度が18℃となっていて、いつから扉が開いていたか不明のため、ワクチン（14バイアル）を廃棄した。

※ファイザー社製のワクチンの冷蔵庫での保管温度は2～8℃とされている。

8：10 当該医療機関の職員から市担当部署に、ワクチンを廃棄した旨の連絡があった。

10：00 市担当部署から当該医療機関に対して、ワクチン（14バイアル）を追加配送した。

11：30 市担当部署から当該医療機関に対し、ワクチンの適正管理を指導した。

15：00 市担当部署からすべての個別接種協力医療機関に対し、ワクチンの適正管理の徹底を依頼する文書を発出した。

3 その他

当該医療機関に速やかにワクチンを追加配送したため、予約のキャンセルなど市民接種への影響は無かった。